



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月25日

上場取引所 東大

上場会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 有岡 雅行
 (氏名) 松本 元春

TEL 077-537-1700

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	74,921	△21.7	7,794	△72.2	7,152	△74.0	614	△95.5
24年3月期第1四半期	95,715	△9.9	28,003	△31.7	27,515	△32.3	13,688	△44.6

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 5,765百万円 (△59.5%) 24年3月期第1四半期 14,243百万円 (△43.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.24	—
24年3月期第1四半期	27.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	681,649	477,522	69.2
24年3月期	687,069	475,736	68.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 471,674百万円 24年3月期 470,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	145,000 ～155,000	△21.4 ～△15.9	12,500 ～17,500	△73.7 ～△63.2	10,000 ～15,000	△78.1 ～△67.2	2,500 ～5,000	△90.0 ～△79.9	5.03 ～10.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料3ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料3ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	497,616,234 株	24年3月期	497,616,234 株
25年3月期1Q	205,445 株	24年3月期	206,939 株
25年3月期1Q	497,409,917 株	24年3月期1Q	497,442,781 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) （参考）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

[第1四半期累計期間]

①概況

世界経済は、欧州では債務危機の長期化が景気を下押しし、米国では緩やかな景気回復の一方で雇用改善のペースは鈍く、中国においても成長率が鈍化するなど、減速懸念が強まりました。国内経済は、震災からの復興需要やエコカー補助金などの効果もあり内需を中心に回復基調をたどりましたが、欧州債務危機に端を発する外需の減速や円高の進行に伴い輸出環境が厳しさを増すなど、予断を許さぬ状況が続きました。

このような中、当第1四半期（平成24年4月1日～6月30日）に関しては、前年同四半期（平成23年4月1日～6月30日）との比較では減収、減益となりましたが、主力の液晶ディスプレイ（LCD）用基板ガラスにおいて、需要の回復を背景に販売が持ち直したほか生産面でも改善が進み、業績は前四半期（平成24年1月1日～3月31日）と比べると売上、利益ともに回復に転じました。

②経営成績

	前第1四半期累計期間 (23/4～23/6) (億円)	当第1四半期累計期間 (24/4～24/6) (億円)	増減 (%)
売上高	957	749	△22
営業利益	280	77	△72
経常利益	275	71	△74
純利益	136	6	△96

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第1四半期累計期間 (23/4～23/6)		当第1四半期累計期間 (24/4～24/6)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報用ガラス	775	81	595	80	△180	△23
	その他用ガラス	182	19	153	20	△29	△16
合計		957	100	749	100	△208	△22

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(売上高)

・電子・情報用ガラス：

主力のLCD用基板ガラスの販売は、緩やかな回復を示しました。プラズマディスプレイ用基板ガラスの販売は、昨秋以降需要が大きく減少し、厳しい状況が続きました。光関連ガラスの販売は、通信インフラ需要の回復を背景に堅調に推移しました。イメージセンサ用カバーガラスの販売は、コンパクトデジタルカメラ向けは減少したものの、デジタル一眼カメラ向けの出荷が増加しました。

・その他用ガラス：

ガラスファイバの販売は、主力の自動車部品向けが需要回復により持ち直しましたが、耐熱・建築・その他の事業は、住宅・建築関連市場の回復が鈍く、また生産面で低調な分野も見られ、販売は振るいませんでした。

(損益面)

主として、LCD用基板ガラスの生産性改善や稼働率の上昇、減価償却費の減少などが寄与しました。この結果、前年同四半期との比較では、営業利益及び経常利益は減益となりましたが、前四半期と比べると増益となりました。一方、投資有価証券評価損を特別損失として計上したことが、純利益を下押ししました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

	24年3月期 第2四半期累計期間 (23/4～23/9) (億円)	25年3月期 第2四半期累計期間 (24/4～24/9) (億円)	増減 (%)
売上高	1,843	1,450～1,550	△21～△16
営業利益	475	125～175	△74～△63
経常利益	457	100～150	△78～△67
純利益	248	25～50	△90～△80

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

世界経済の減速懸念が強まる中、先行きの需要動向に対する不透明感が増してきており、事業環境は今後も予断を許さぬ状況が続くものと思われま。

このような中、第2四半期（平成24年7月1日～9月30日）に関しては、電子・情報用ガラスでは、主力のLCD用基板ガラスにおいて概ね第1四半期並みの需要を見込んでおり、引き続き薄板ガラスの生産に伴うコスト改善により、収益性の向上を図ってまいります。その他用ガラスでは、ガラスファイバにおいて安定した需要を見込んでいますが、耐熱・建築・その他の事業はなお低調な状況が続くものと予想しています。

第1四半期の業績に上記見込みを加えた第2四半期累計期間の連結業績予想は、前年同期実績を下回る見込みです。

(業績予想の開示について)

証券取引所が定める適時開示基準に基づく開示に加え、投資家の皆さまに、より迅速・適切な業績情報をご提供するため、以下の要領で当期業績見込みをお知らせします。

予定時期	当期業績見込み（累計ベース）（数値開示）
6月下旬	第1四半期
9月下旬	第2四半期
12月下旬	第3四半期
3月下旬	通期

なお、四半期ベースでの次期見通しについては、四半期業績発表の際に決算短信上で開示します。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素がありえます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

有形固定資産の減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ39百万円増加しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,827	97,457
受取手形及び売掛金	56,230	62,733
商品及び製品	29,830	29,611
仕掛品	2,170	1,925
原材料及び貯蔵品	20,905	20,477
その他	9,555	10,664
貸倒引当金	△103	△98
流動資産合計	224,415	222,771
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	328,541	327,399
その他（純額）	91,769	93,123
有形固定資産合計	420,311	420,523
無形固定資産		
投資その他の資産	1,458	1,405
その他	40,930	36,993
貸倒引当金	△45	△44
投資その他の資産合計	40,884	36,948
固定資産合計	462,654	458,877
資産合計	687,069	681,649
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,208	38,837
短期借入金	43,398	23,618
未払法人税等	2,005	4,586
その他の引当金	131	33
その他	48,455	40,534
流動負債合計	135,199	107,610
固定負債		
社債	20,000	40,000
長期借入金	20,413	19,617
特別修繕引当金	33,430	34,537
その他の引当金	1,487	1,509
その他	801	852
固定負債合計	76,133	96,516
負債合計	211,333	204,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,355	34,354
利益剰余金	415,799	412,435
自己株式	△274	△272
株主資本合計	482,037	478,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	824	1,780
繰延ヘッジ損益	△5	△54
為替換算調整勘定	△12,572	△8,725
その他の包括利益累計額合計	△11,753	△6,999
少数株主持分	5,452	5,847
純資産合計	475,736	477,522
負債純資産合計	687,069	681,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	95,715	74,921
売上原価	60,777	60,626
売上総利益	34,938	14,294
販売費及び一般管理費	6,935	6,500
営業利益	28,003	7,794
営業外収益		
受取利息	41	29
受取配当金	247	274
為替差益	226	—
その他	412	303
営業外収益合計	927	607
営業外費用		
支払利息	245	213
固定資産除却損	553	327
休止固定資産減価償却費	144	406
仕損品損失	309	76
その他	161	224
営業外費用合計	1,415	1,249
経常利益	27,515	7,152
特別利益		
特別修繕引当金戻入額	—	866
投資有価証券売却益	1,478	—
特別利益合計	1,478	866
特別損失		
固定資産除却損	247	256
投資有価証券評価損	—	4,074
競争法関連引当金繰入額	5,000	—
その他	315	327
特別損失合計	5,563	4,658
税金等調整前四半期純利益	23,430	3,360
法人税等	9,263	2,364
少数株主損益調整前四半期純利益	14,167	996
少数株主利益	479	381
四半期純利益	13,688	614

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,167	996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,459	955
繰延ヘッジ損益	5	△48
為替換算調整勘定	1,529	3,861
その他の包括利益合計	75	4,768
四半期包括利益	14,243	5,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,758	5,369
少数株主に係る四半期包括利益	484	395

(3) (参考) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,430	3,360
減価償却費	12,115	10,950
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,940	△5,823
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,878	1,525
仕入債務の増減額 (△は減少)	613	△7,123
法人税等の支払額	△14,453	△1,089
その他	4,606	6,453
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,493	8,253
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△29,431	△12,915
その他	△343	△2,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,775	△15,830
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長短借入金及び社債等の純増減額 (△は減少)	△800	△590
配当金の支払額	△3,328	△3,808
その他	290	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,837	△4,445
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,975	△11,876
現金及び現金同等物の期首残高	116,366	105,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	96,390	93,333

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。